

企業ニュース リゾートトラスト

(東証プライム:4681) <https://www.resorttrust.co.jp/>

作成者:高見澤晶子

会員制リゾートホテル国内最大手

会員制ホテル「エクシブ」「ベイコート俱乐部」の開発・運営、会員権の販売を手掛ける。2024年には新たな会員制ホテルブランド「サンクチュアリコート」の第1弾、サンクチュアリコート高山の開業を控える。ホテルの他、会員制医療サービス施設「グランドハイメディック俱乐部」の運営も行っている。22.3期のセグメント別売上高構成比は、会員権26%、ホテルレストラン等47%、メディカル27%。

「会員制モデル」を基軸とした成長を目指し、会員数や1顧客当たりの利用額の増加に注力する。会員数増の施策では、デジタルの活用や紹介契約といった入会経路の拡大が寄与し新規会員の獲得が進んでいる。対象顧客や展開エリアの拡充により、さらなる会員増が期待される。

22.3期の会員権販売の契約高は過去最高を更新

22.3期の連結業績は、売上高が1,578億円、前期比6%減、営業利益が87億円、同41%減。前期に横浜ベイコート俱乐部の開業に伴う繰延収益を一括計上した反動により減収減益だが、これを含む繰延影響を除いて会社が算出した実力値では、同21%增收、同351%営業増益と好調だった。サンクチュアリコート高山をはじめとした施設の会員権販売が過去最高の契約高を更新したほか、ホテルやレストランの稼働率が改善したこと寄与した。

23.3期の通期会計計画は、売上高が1,610億円、前期比2%増、営業利益が92億円、同6%増。前述の実力値で見ると、営業利益は同4%減となる。会員権販売が前期の契約高を下回る想定だが、前期末(3月23日)に開始したサンクチュアリコート琵琶湖の会員権販売が好調なほか、下期には関東で開業する新施設の会員権販売も予定しており、やや保守的な印象。また、ホテルやレストランの稼働率も徐々に改善し、業績回復に寄与しよう。なお、一般向けホテル事業の一部資産譲渡に伴い固定資産売却益を計上予定であることから、当期利益は大幅増益を見込む。

[株価動向・投資判断]

会員制という強みを發揮し、相対的に安定した成長が期待できよう。中長期におけるメディカル事業の拡大にも期待したい。

<4681 リゾートトラ 業績:日本基準>

| | 売上高 | | | 当期利益 | | [今期予想の配当金は発行会社予想] | | |
|--------|---------|---------|--------|----------|--------|-------------------|----------|--------|
| | 百万円 | (伸び率) | 百万円 | (伸び率) | 百万円 | (伸び率) | 1株利益 | 1株配当 |
| 21.3 | 167,538 | (-5) | 14,707 | (-26) | 17,647 | (-41) | ▲ 10,213 | (-) |
| 22.3 | 157,782 | (▲ 6) | 8,693 | (▲ 41) | 11,123 | (▲ 37) | 5,775 | (-) |
| 23.3 予 | 161,000 | (-2) | 9,200 | (-6) | 8,800 | (▲ 21) | 10,800 | (87) |

